

平成18年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

| | | |
|---------------|-------|-----|
| 秋 水 会 | 長 谷 川 | 昭 一 |
| 市 民 ク ラ ブ | 菊 地 | 達 雄 |
| 社 会 ・ 市 民 連 合 | 猪 股 | 竹 作 |
| フ ォ ー ラ ム 2 1 | 小 林 | 一 夫 |
| 共 産 党 | 佐 々 木 | 勇 進 |
| 公 明 党 | 近 江 | 喜 博 |
| 秋 水 会 | 熊 谷 | 重 隆 |
| 秋 水 会 | 佐 々 木 | 晃 二 |

1 市長の行政運営における政治姿勢について

- (1) 中通一丁目地区市街地再開発計画に係る知事発言について
- (2) (仮称)市民サービスセンター構想の公約について
- (3) 第11次秋田市総合計画の策定について
- (4) 第4次秋田市行政改革大綱の推進と進捗管理について
- (5) 新組織について
 - ア 新組織の設置に至る意図、スタッフ及び取り組み内容について
 - イ 市勢活性化推進本部について
 - ウ 今冬の豪雪対策成功例と今後の方針について
 - エ 特別滞納整理室について
- (6) 秋田市未来を築く子どもを育むための市民や社会の役割に関する条例への対応について

2 教育行政に関する課題について

- (1) 教職員の人事権移譲に関する対応について
- (2) 学校の統廃合を含めた再編計画について
- (3) 文化財の保護支援対策について
 - ア 重要建造物である県指定文化財が指定解除になった理由について
 - イ 経済的支援について
- (4) 秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院の取り組みについて
 - ア 学院設置の趣旨と教育内容について
 - イ 今後の教育内容の取り組みについて

3 福祉関連の課題について

- (1) 障害者自立支援法の施行について
 - ア 制度移行への対応について
 - イ 本年10月施行の事務事業の主な内容について

- ウ 制度改正による本市負担額の変化について
- エ 自己負担の軽減策について
- オ 障害者福祉施策の将来展望について
- (2) 地域包括支援センターの設置について
 - ア 設置基準について
 - イ 運営法人の選定について
 - ウ 在宅介護支援センターの今後の位置づけについて

4 秋田わか杉国体の開催準備状況について

5 南秋地区の焼却ごみの受け入れについて

- (1) 受け入れ状況及び問題等の発生がなかったのか
- (2) 今年度末における今後の見通しについて

6 観光政策について

- (1) おもてなしの心（ホスピタリティ）のとらえ方と向上策について

1 まちづくりについて

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 中通一丁目地区市街地再開発事業推進協議会の進め方について

イ 県庁若手職員による再開発プランへの対応について

ウ 佐竹史料館の移転問題について、早急に知事からの賛同が得られるよう、市として最大限の努力をすべきと考えるがどうか

エ まちづくり三法の改正を本事業にどう生かすのか

オ 平成9年に開始した本事業がなぜ9年間も足踏み状態となっているのか、また、今日までにぎわいの回復ができなかった原因はどこにあると考えているのか

(2) 景観法について

ア 景観法に基づき、きめ細かい景観形成基準を検討している他都市のすぐれた事例などを参考にすることで、景観にすぐれた都市として発展するよう計画的な景観形成に努めるべきと思うがどうか

イ 歴史ある町並みとして後世に保存したい地域について、景観法を活用した今後の取り組みはどのようになっているのか

2 教育について

(1) 読書活動の推進について

ア 河辺総合福祉交流センターにおける図書機能整備の具体的な内容について

イ 生涯学習の推進の場として地域で真剣に読書活動に取り組んでいる団体に対して、市として大いに連携、支援、協力をすべきと思うがどうか

(2) 小中学校教員の人事権の中核市への移譲について

ア 人事権が中核市に移譲されることによって、どのような教育の成果が期待できるのか

(3) 中学校において、地域社会とのかかわりの中でふるさとを愛し、他人への思いやりや倫理観などを育む教育の充実のために、どのような点に力を入れて指導、助言をしているのか

(4) 教育環境の整備について

ア 市立小中学校の耐震診断後の整備計画について

(5) 認定こども園における幼保一元化構想の推進について

3 福祉政策について

(1) 昨年10月に介護保険法が改正され、施設入所者の居住費と食費が自己負担になったことにより、入所していた施設を退所しなければならなくなる方が出てきているが、本市の状況はどうか

(2) 介護予防を目的とした地域支援事業の具体的なスケジュール及び予想される効果について

(3) 福祉施策推進に当たっての各地域にある地域センターやコミュニティセンターとの連携について

(4) 障害者自立支援法施行に伴い、障害者福祉をどのように充実させていくのか

4 秋田市地域福祉活動計画について

(1) 秋田市地域福祉活動計画を推進する地域の単位について

(2) ふれあい地域サロン事業の推進について

(3) 福祉教育推進事業の状況について

5 「健康あきた市21」計画について

(1) 自殺者についての本市の現状分析と今後の対策及び自死遺児への支援対策について

(2) 歯の健康を維持するため、歯科健康教育などで大きな役割を果たしている歯科衛生士の位置づけをどのように考えているのか、また、他の中核市の現状はどうか

6 常陸太田市との交流について

- (1) 今後の交流の進め方と展望について

7 (仮称)市民サービスセンター構想の進め方について

- (1) 早期開設に向けてどのように取り組んでいくのか

8 秋田拠点センターアルヴェの運営について

- (1) 複合映画館の休館や飲食店の撤退等が続く状況であるが、今後のアルヴェの運営の見通しと本市の協力体制をどのように考えているのか
- (2) 複合映画館の再開のネックの一つとなっている駐車場問題について、アルヴェ全体の運営を見据えた立場から、本市として独自の研究や助言を行うべきと考えるがどうか

9 上下水道事業等について

- (1) 下水道事業認可区域の拡大計画について
- (2) 下水道事業認可区域の拡大に伴うし尿処理業者への支援について
- (3) 秋田市水道100周年記念事業の進捗状況について

1 高齢社会における国民健康保険事業、介護保険事業及び老人保健医療制度の現状認識と今後のあり方について

- (1) 高齢化が進展する中、市長は現状をどのように認識しているのか
- (2) 全庁的に現状と問題点を整理し、市民に的確な情報を提供すべきではないか
- (3) 国民健康保険事業の現状は国民皆保険制度の崩壊につながりかねない要素を含んでいると思うがどうか
- (4) 国民健康保険税の収納率が約89%と低い現状にあるが、収納対策についてどのように考えているのか

2 市税等の収納対策について

- (1) ここ数年間の一般会計と特別会計を合わせた、未収金及び不納欠損額の推移について
- (2) 未収金の状況を全庁横断的に把握するとともに、連携をとって取り組む部所が必要と思うがどうか

3 水害対策とハザードマップ作成について

- (1) 雄物川上流部の河川改修工事の完成により、水害の心配はないのか
- (2) 洪水ハザードマップ作成の進捗状況はどうなっているのか

4 秋田わか杉国体について

- (1) 知事の「国体で優勝したい」との発言とその対策について
- (2) 自動体外式除細動器（AED）の配置について

5 秋田・庄内広域圏構想について

- (1) 石川美術工芸短期大学学長の問題提起をどのように受けとめているのか

- (2) 庄内地方からの大森山動物園への入園者について
- (3) 秋田と庄内地方との経済や文化のつながりはどうか、また、今後どのような連携や交流が考えられるのか

6 耐震偽装問題について

- (1) 本市における民間確認検査機関の参入状況及び確認件数について
- (2) 市総合振興公社での取り扱い件数について
- (3) 耐震偽装問題発生以降の審査体制はどのようになっているのか
- (4) 耐震強度の新計算法である「限界耐力計算」への本市の対応について

7 林業問題について

- (1) 「森林セラピー基地」と「セラピーロード」構想の具体化について
- (2) 木材の活用策について

8 湯沢以南及び新潟方面などへの高速道路の整備促進について

- (1) 未開通の高速道路の現状について
- (2) 経済文化交流のためにも積極的に整備促進運動とのかかわりを強めるべきではないか

9 まちのにぎわいと活性化について

- (1) まちづくり三法にかかわった都市整備部長の感想について
 - ア 本市のまちづくりをどのように見ているのか
 - イ 秋田駅前についてどのように感じたのか
- (2) 中心市街地活性化法成立を受け、どのように制度を活用し、本市の活性化につなげるのか
- (3) にぎわいづくりのための現状認識と今後について
 - ア 秋田駅周辺の通行者数やアトリオンの入場者数について
 - イ 市民が歩いて回りたいという魅力づくりと市民合意が必要ではな

いか

10 今冬の豪雪の教訓を踏まえた対策について

- (1) 市職員が地域で活動できるよう、ボランティア休暇を時間単位でとれるようにすべきではないか
- (2) 真夜中に市長がみずから車を運転し市内を巡回したとのことであるが、庁内体制や危機管理上の点で改善すべき余地があるのではないか

1 第4次秋田市行政改革大綱について

(1) これまでの3次にわたる行政改革で見えた課題とそれに対するこのたびの行政改革における対応について

ア 組織について

イ 制度について

ウ 施策について

(2) 分権型社会構築に対する基本的な考えについて

(3) 職員の意識改革と行政能力向上策について

(4) 市民力・地域力の育成について

(5) 市内全域における、行政改革の説明会及び意見交換会の開催について

2 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 現段階における市長の再開発事業に対する基本的な考えについて

(2) 中通一丁目地区市街地再開発事業推進協議会の活動内容と今後のスケジュールについて

(3) 準備組合が提出した事業計画素案の白紙見直しの可能性について

(4) 公共公益施設整備基本計画策定経費の予算計上を急遽見送った理由について

3 (仮称)市民サービスセンターについて

(1) 本庁に対する(仮称)市民サービスセンターの位置づけについて

(2) (仮称)市民サービスセンターの権限や予算要求及び予算執行の範囲について

(3) 市民の自治意識の醸成について

4 秋田市未来を築く子どもを育むための市民や社会の役割に関する
条例について

- (1) 条例の運用における、市民参加型の会議等の開催について
- (2) 部局を越えた体制づくりについて

5 教育行政について

- (1) 人事評価制度について
 - ア 教育委員会に提出された人事評価書への対応について
 - イ 人事評価制度の必要性について
- (2) 学校の多忙化の解消について
 - ア 多忙化の現状認識について
 - イ 多忙化の解消に向けた取り組みについて
- (3) 教員採用試験について
 - ア 講師の実績を重視することについて
 - イ ペーパー試験重視より教師としての適性を重視することについて
 - ウ 年齢制限の引き下げをしないことについて
 - エ 上記3点について、県に要望する考えがあるかどうかについて

6 国道7号下浜バイパスの整備について

- (1) 工事着工に向けた、今後の関係機関への働きかけについて
- (2) 用地買収も含め事業をスムーズに行うために市ができるサポートに
ついて

7 下浜駅の公衆トイレについて

- (1) 公衆トイレの清掃について

1 市長の政治姿勢について

(1) 教育基本法の改正問題について

ア 教育基本法は、すべての教育関係の法律の根本にある憲法に準じた大切な法律であり、学校等を運営する自治体や住民及び児童生徒にとっても、その改正は直接影響を受けるものであるが、このたびの政府の改正案そのものについて、市長はどのような見解を持ったのか

イ 市長は今まで、現行の教育基本法をどのように評価し、市の教育行政に生かしてきたのか、また、いじめや不登校などの教育荒廃、少年の凶悪犯罪など、今日の教育をめぐる危機は、本当に現行の教育基本法に問題や責任があると考えているのか

ウ 今必要なことは、「競争主義」と「管理主義」の二つを正すことであり、それは、現行の教育基本法のもとでこそできるものではないのか

(2) 市と市民との信頼関係について

ア 国民健康保険税の値上げに関して、条例改正後の状況の変化への対応について、市民団体から会見の申し入れがあった際に、適切な対応がなされなかったと聞いているが、このような場合、丁寧にわかりやすく説明することが佐竹市政の目指すべき姿ではなかったのか

2 中通一丁目地区市街地再開発事業とアルヴェ駐車場について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 佐竹史料館は、都市公園として長い年月を刻んだ歴史と文化に培われた千秋公園内に整備を行ってこそ、より効果を発揮するのではないか

イ 本市の伝統工芸や全国に誇れる秋田民謡等の伝統芸能など、秋田

の特色を生かすものを中心にしたまちづくりをすべきではないか

ウ 当該地区には無料の駐輪場こそが必要ではないのか

(2) アルヴェの駐車場について

ア パーク24株式会社に対し支払っている負担金は、どのような性格のものか

3 国民健康保険税について

(1) 他の中核市では、一般会計から国民健康保険事業会計への法定外の繰り入れを行っているが、本市でも法定外繰り入れを行い、国民健康保険税を引き下げるべきと思うかどうか

(2) 減免制度を拡大し、10割減免を行うべきと思うかどうか

4 若者の就業支援及びフリーター、ニート対策等について

(1) 市として、フリーター及びニートの実態を把握すべきと思うかどうか

(2) 若者の就業を支援するため、仕事探しや労働条件、雇用問題などについての相談窓口を設置すべきではないか

(3) フリーターに対してスキルアップや職業訓練のチャンスを与えるべきではないか

(4) 労働行政及び学校教育の現場において、労働者の権利の周知や教育にさらに力を入れていくべきではないか

(5) ニートについて、市としてどのような対策を講じているのか

5 バイオディーゼル燃料（BDF）について

(1) 廃食油や菜種油を活用したBDFの実用化に向けた検討をすべきと思うかどうか

(2) 当面、廃食油からBDFを生産している企業と連携し、家庭や事業所から出る廃食油の分別収集などを支援できないか

6 秋田椿台エフエム放送株式会社の移転について

(1) 移転補償費は適正な金額かどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 新秋田市総合計画について

ア 新秋田市総合計画は全面的にリニューアルされているが、

現状認識を踏まえ計画に対する考え方と基本方針の考え方はどうか

イ 計画年次は平成19年～27年の9年間と設定しているが、10年後の

国際社会や国・県・市の姿を含め社会情勢全般をどうとらえている

のか

ウ これからの地域間競争・都市間競争における生き残り戦略や「秋

田らしさ」「秋田ブランド」づくりをどう打ち出していくのか、また、

都市間競争で勝ち残る勝算と所得及び中央と地方の2つの格差

解消についてどう考えているのか

エ 将来を見据えた山積みされた諸課題の中で、本市における最重要

課題と問題点は何と考えているのか

オ 自殺率・高齢化・少子化率がワーストの現実を踏まえ、その対策

を新総合計画ではどう取り上げているのか、また、目標値などの設

定値を考えているのか

カ 本市発展の要は雇用対策であると考えますが、その対策について

キ 本市経済の問題をどうとらえ、将来における地場産業振興をどう

図るのか、また、10年後の産業別総生産の割合の予測と中心産業を

どう想定し、育成を図るのか

ク これからの農政の指針となる「食料・農業・農村基本計画」が本

市及び県に及ぼす影響と今後における農業について

ケ 起債制度の改革で市中資金調達など、具体的な金融マネジメント

の施策をどう考えているのか

コ 団塊世代の取り込みについて

サ 新総合計画の最終年次となる10年後の本市の財政力、予算規模や

税収などの数値をどう予測しているのか

(2) 市長は、石川美術工芸短期大学学長の「北前船コリドール構想」をどう考えているのか

2 市勢活性化推進対策について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発について

ア 再開発の司令塔とプランニングを含む推進者は誰が担うと考えているのか

イ 市長はラストチャンスととらえているが、何がラストチャンスなのか、また、さきの知事発言でラストチャンスは消えなかったのか、そして、これは誰のための再開発なのか

ウ 再開発のマネジメントについて

エ 再開発計画は、足掛け10年になるが、国体まで間に合わなかった責任は誰にあると考えるのか

オ 現時点の計画案で、中通一丁目地区のにぎわいを取り戻す自信はあるのか、また、再開発の成功の確信はあるのか

(2) 秋田市推進本部規則の川反地区振興について、なぜ大町地区の振興が先行でないのか

3 安全・安心対策について

(1) 公園など子供の遊び場の安全性をどう確保し、その対策をどう考えているのか

(2) 国は食育推進基本計画を施行しているが、健康及び食育に対する具体的な市の対応と取り組みはどうなっているのか

(3) 自殺率全国ワーストの解消について、この問題は安全・安心対策には入らないと考えているのか、また、入らないのであればどういう位置づけとして考えているのか

(4) 市民生活における不安解消を図るため、ネットワークづくりとその対応はどうなっているのか

4 国体について

- (1) 本市経済の底上げを図るチャンスとして、国体をどうとらえ、本市活性化のための活用をどう考え計画を立案してきたのか、また、秋田を売り込む対策をどう考えているのか
- (2) 国体で秋田に来た人が、秋田のよさを認識し、再度来県する人の確保などリピーターとしての確保と対策について
- (3) 秋田の接客態度の悪さをよく聞かれるが、接客態度の改善や市民意識の向上をどう図っていくのか
- (4) 国体の費用対効果及び波及効果をどう予測しているのか、具体的な数値はどうか、また、各目標を設定すべきと思うがどうか
- (5) 今年から本番期に向け、もっと独創的で知恵を使ったイベント開催や本市の観光及び宣伝を全国に発信できないか、また、全庁を挙げてその対策と戦略を考えていないのか

1 まちづくりについて

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 早期に県、市、秋田商工会議所及び準備組合の4者が足並みをそろえるべきではないか

(2) 国際教養大学周辺キャンパスタウン構想及び雄物川の雄大な自然を活かした舟遊空間づくりプロジェクトについて

ア 県と市の垣根を越えて連携を深めながら積極的に推進すべきと思うかどうか

2 (仮称)市民サービスセンターについて

(1) 河辺・雄和両市民センターを(仮称)西部地域市民サービスセンターよりも早く(仮称)市民サービスセンターに移行できないのか

(2) 河辺・雄和両市民センターをいち早く(仮称)市民サービスセンターに移行させることによって、他地域におけるモデルケースになるものと考えられるかどうか

3 第4次秋田市行政改革大綱について

(1) 芸術・文化施設への指定管理者制度の推進について

ア 指定管理者制度導入に当たっての配慮について

イ どのような事業者を想定しているのか

ウ 導入の効果をどのように見込んでいるのか

(2) 公立保育所の民間移行について

4 財政について

(1) 退職手当の見通しと財源確保について

ア 今後の退職者数をどのように推計し、退職手当の必要額を毎年どれくらいと積算しているのか、また、退職手当の財源をどのように

確保するのか

5 教育について

(1) いじめ問題について

ア 教育現場におけるいじめ問題への対策をいま一度見つめ直す必要があると思うがどうか

(2) 中学生の部活動について

ア 部活動のあり方について、どのように考えているのか

(3) 中学生の飲酒について

ア 市内の中学生を対象としたアンケートの結果について、どのように認識し、生活指導に当たっているのか

イ 防止対策として保護者との連携が不可欠と思うがどうか

(4) 児童生徒の肥満防止対策について

ア 食育基本法に基づき、学校はもとより家庭や地域と一層の連携を図りながら、例えば「肥満児童減少運動」を展開するなど、肥満傾向の全国平均値に近づけられるよう努力すべきと思うがどうか

6 雇用問題について

(1) 雇用の創出について

ア 地元企業育成のため、行政が積極的に支援策を講ずるべきと思うがどうか

イ 若者を地元に着させるために、将来を見据えた安定的な企業誘致を行い、中長期的視点に立って雇用拡大に努めるべきと思うがどうか

(2) 市内で働いている外国人あるいは企業に対し、どのような支援策を講じているのか

7 観光振興について

(1) 広域的な連携を深め、自治体同士の観光資源を有機的に結びつける

ことにより、一層の誘客を見込めると思うかどうか

8 農林業の振興について

(1) 集落営農組織の確立について

ア 来年度から導入される品目横断的経営安定対策に向けて、本対策の開始時には集落営農組織はどの程度と見込んでいるのか

イ 水田面積の何パーセントを目標にしているのか

ウ 本対策が本格実施となって3年後の平成22年度における農業構造の見通しはどのようなものか

エ 農政の大転換で農業の構造改革が進むと離農者が出てくることが予想されるが、その対策をどのように講じるのか

(2) 経営体育成基盤整備事業について

ア 本市における大区画ほ場整備事業への取り組みの状況とその見通しはどのようになっているのか

イ 担い手及び集落営農組織化に対する支援策はどのようになっているのか

ウ 通年施行によりほ場整備事業に取り組もうとする農家の転作等実施水田に対する本市の助成措置はどのようになっているのか

(3) 関係機関と連携を図りながら、ナラ枯れ対策を講じる必要があると思うかどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 本市の財政比較分析表について

ア 財政比較分析表の発表をどう受けとめ、どう対応するのか

イ 定員管理の適正度について、第4次秋田市行政改革大綱の数値を上回る努力目標を設定し、改革断行への意欲を打ち出すべきと考えるがどうか

(2) 中通一丁目地区市街地再開発事業における歴史文化施設の整備について

ア 市の施設として整備するならば、これまでの方針を変えることのない立場で中通一丁目地区市街地再開発事業推進協議会に臨むべきと考えるがどうか

イ 佐竹史料館の整備については、本格的な博物館を目指す意味から全国に誇れる施設整備をすべきではないか

(3) 市に関連する団体及び公益法人の会計事務への指導について

ア 会計事務が不適切にならないように、どのような対策や指導を行っているのか

(4) P F I 事業について

ア 新屋比内町への市営住宅統廃合計画の進捗状況、事業実施年度及び事業方式と総事業費について

イ 同規模事業を市が実施した場合と比較した財政効果について

(5) 今後の本市財政の動向について

ア 一般政策経費の削減はいつまで続くのか、また、市民サービスの低下を招かないための経費の確保の見通しはどうか

2 教育問題について

(1) 就学援助について

ア 本市における就学援助の件数と割合及び傾向について

(2) 給食費の徴収について

ア 平成17年度の滞納件数と滞納額について

イ 滞納者への対応について

ウ 市として滞納者に対応する学校の負担軽減について

3 観光の振興について

(1) 秋田市観光振興計画の行動計画を実施するために必要な予算の短・中・長期的な計画について

(2) 本市独自の名物メニューの開発について

ア 「食による観光コンテンツの充実」の最大テーマと位置づけ、本市の魅力アップと同時に誘客の向上策として積極的に先導する考えはないか

(3) 旧黒澤家住宅の移設について

4 新規市営墓地及び斎場の整備について

(1) 新規市営墓地の整備について

ア 墓地整備構想を立てるとすれば北部地区への整備が優先と考えるかどうか

イ 市営墓地の新たな形態及び管理手法の導入についてどう考えるのか

(2) 斎場の整備について

ア 現在地における斎場の改築が一番スムーズではないか

イ 事業費・規模・管理形態はどのようになるのか